www.takasaki-pta-net.com

高崎市小中養護学校PTA連合会

高崎市P連

かわら版

平成20年度

第3号

高崎市小中養護学校
ＰＴＡ連合会
児童・生徒30045人
編集　情報委員会
発行　高崎市P連

「緊急携帯連絡網」が６月よりスタートしました。第四ブロックでは、各校の利用状況や保護者の意見など、第四ブロック各校の現状について調べてみました。運用開始から間もないことから、登録している保護者の割合についてはバラつきがあるようです。また、この紙面で登録後の疑問点についても簡単にまとめてみましたので、確認いただければと思います。情報委員会では、他各校の取り組みや地域の情報を随時お待ちしております。お近くの情報委員までお知らせください。

「緊急携帯連絡網」知ってますか？

夏休み前の今年六月「緊急携帯連絡」が開始されました。これを利用した学校の多くは、臨海学校や校外学習で帰路の到着時刻のお知らせなどで使用したようです。それ以外の利用としては、親子除草作業の雨天中止のお知らせや運動会開催のお知らせなどがありました。そのメールを受けた保護者の方たちに聞くと「情報が早くて便利だ」「正確な情報を受けられて安心だった」と言う意見が多く寄せられ、一番多かった意見としては「電話連絡網では次の人に廻さなければならないが、それが無いのは楽だ」といった意見でした。

※早い　※正確・安心　※楽

各校数回の配信で、保護者には良いルールとして認識されているようです。

しかし、このシステムも全ての方に情報を伝達できるものではありません。

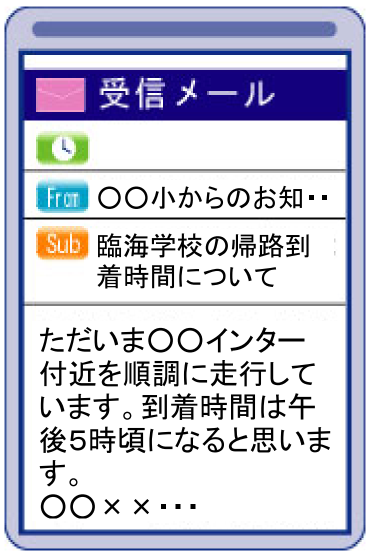
緊急時に保護者の方に情報を伝達する手段の一つです。

全ての方に情報を伝達するには、電話での連絡等様々な連絡手段を用いる必要があります。

また、この「緊急携帯連絡網」に登録していても、メールを開かなければ情報は伝わりません。保護者からは、仕事中で見ることが出来ないという意見も多いですが、休み時間等の合間を利用し確認することが求められます。

それに合わせ、メールを受信して見た人は、必ず承認の返信メールをする必要があります。（【注】学校側からのメールにより異なります。承認が必要な場合は、必ず承認の返信メールをして下さい）そうでないと学校側はその情報が伝わったのか確認出来ないのです。

【イメージ】



受信メール

From ○○小からのお知‥

Sub 臨海学校の帰路到着時間について

ただいま○○インター付近を順調に走行しています。到着時間は午後5時頃になると思います。
○○××･･･

学校と家庭をつなぐ

登録状況を確認する中で、登録していない保護者の意見も聞いてみたところ、「登録作業が面倒だから」「普段メールをしないから必要がない」という意見がありました。また、中学校では在校年数が少なくなると登録しない方が多くなるようです。

また、登録率については小学校と中学校では若干の開きがありました。小学校の保護者の方が登録する人が多いようです。しかし、これには中学生における、親でも経験のある次のハードルがあるようです。

※子どもが親にプリントを渡さない（見せない）

実際、登録方法のお知らせを見ていなかったので、登録していなかった（出来なかった）という保護者の方もいました。我々保護者は、子ども達が学校から配布される印刷物を、注意深く確認することが必要です。

登録出来ずにいた保護者の中には、「登録したいので、登録の仕方を教えてもらいたい」と考えている保護者もおり、数校ではそういった保護者に対し、個人面談時などに登録してもらい登録率が上がったということもありました。

学校の対応として、保護者に対して登録する機会を増やすことと、登録していない保護者については専用の電話連絡網を構築する必要があるようです。

こんな使い方があれば便利

第四ブロックの委員から、この「緊急携帯連絡網」が、こんな利用が出来たらとても便利だと思う、という意見が多数寄せられました。内容は次に挙げる各項目です。

・学校行事の連絡
・運動会の実施の連絡
・修学旅行等の帰着の連絡
・学年行事の連絡
・ＰＴＡ行事の連絡

緊急携帯連絡網について調べてみて・・

緊急時の連絡手段として有効な緊急携帯連絡網がスタートして各校でも利用が始まっていますが、このシステムにしても万全ではなく、全ての保護者に情報を正確に伝えることがいかに難しいかを再確認することができました。

それと同時に、自分の子供たちとのコミュニケーションのとり方を改めて考えさせられました。

便利さ、手軽さが優先され、効率化が求められ、子育てにとってもっとも大切な子供と向き合う時間や話をする機会を持たずに、便利なツールに頼りすぎているのではないか。

親として子供との接し方を考えるよいきっかけとなりました。

「緊急携帯連絡網」の操作をしている先生って！？

教頭先生	15校
情報主任	1校
事務	1校

第4ブロック（17校・中央中等除く）調べ。教頭先生に操作を委ねる趣旨ではありません。

既に、これらの利用をしている学校もありますが、学校側の発信に対する対応はまちまちなのが現状の様です。保護者からは「学年単位で利用できたらもっと便利なのに」という意見が最も多く、今後の課題として、各学校で検討していただければと考えます。

第四ブロックで、各校の利用状況を発表し合い、この緊急携帯連絡網に登録することでの、保護者と学校には、何がメリットで何がデメリットなのかを知ることが出来ました。今後、年に数回の緊急携帯連絡網の実施を試み、意見交換を重ねて行くことで、数年後には学校と家庭をつなぐ、心強い連絡方法の一つとして構築されていくことと思います。

緊急携帯連絡網　教えてQ＆A

ここでは、比較的多く寄せられた質問についての回答をまとめてみました。みなさん、今一度確認してみて下さい。

★個人情報の保護は大丈夫ですか？

登録された保護者の皆さんの携帯メールアドレス等の個人情報は、直接、専用の「データセンター」に保管され誰も内容は確認できませんので、心配はありません。また、学校でも直接メールアドレスにふれることはできません。

★登録できないのですが・・・？

・仮登録受付メールを受信できない場合

携帯電話にパソコンからのメールを受信しないように迷惑メール設定している場合が考えられます。詳しい対処方法は各携帯電話会社へお問い合わせください。

・本登録ログイン画面からログインできない場合

ログインＩＤ等が間違っている可能性があります。学校へご相談ください。

★パスワードを忘れてしまった時は？

学校へご連絡ください。学校側で初期パスワード「１１１１」に変更いたします。

★進級した時はどうなるの？

入学時や転入学時のときに登録した場合、進級しても新たに登録する必要はありません。卒業や転校するまで、登録されたままになります。

★卒業した場合、転校した場合のデータは？

学校側で卒業や転校する児童生徒のデータを削除します。

★メールアドレスを変更したときは？

メールアドレスを変更した場合は、再登録が必要になります。最初に登録した方法で登録し直すことができます。なお、古いメールアドレスは後ほど自動で削除されます。

母親委員会より

成長という変化

秋もたけなわ、爽やかな季節となり、後期の授業もいよいよ始まりました。何かと学校行事も多い季節ですが、皆様お元気にお過ごしでしょうか。

先日、自校（中学校）の学校保健委員会に参加しました。「心の健康」をテーマに子どもたちが中心となりアンケートをとったり、スクールカウンセラーの先生のお話を聴いたりと活発な活動をしているようです。中でもアンケートの結果は、中学校の三年間という短い間に子どもたちの心が大きく変化していく様子を垣間見たような、そんな感じを受ける印象深いものでした。中学校のみならず、小学校は六年間。身体の変化には目を見張るものがあります。自分のこと、家族、友達のこと、勉強のこと…悩むことも多くなってくるのでしょう。でも、その変化は言い換えれば「成長」なのですね。その「成長」を上手にサポートしていける家庭であり、親でありたいと思っています。

さて、母親委員会では「よく見、よく聴き、よく話し、心と心をつなげていこう」をテーマに活動を進めていますが、次回は十一月二十二日の研究集会において、聖徳大学人文学部心理学科の菅沼憲治先生をお招きしての講演会を予定しています。心と心をつなげるために、ぜひ皆様のご参加をお待ちしています。（飯沼委員長）

いよいよ研究集会！

来る十一月二十二日（土）研究集会が市Ｐ連および市教育委員会の主催のもと、榛名文化会館エコールおよび榛名、倉渕保健センターにて開催されます。会員の皆さまのご来場をお待ちしております。

研究集会次第

1. 開会式　　12:00（受付11:30より）
2. 「少年の主張高崎市大会」代表生徒発表
3. 基調講演会　12:50
   - 演題「子どもとの関わり方(仮)」
   - 講師　聖徳大学人文学部教授　菅沼憲治先生
4. 分科会会場案内及び移動
5. 分科会　　14:30
   - (1)研修委員会（榛名、倉渕保健センター）
   - (2)情報委員会・本部役員合同（エコール大ホール）
6. 閉会式　　16:30

頑張ってます！「単Ｐ情報♪」

箕輪小学校　夏季ＰＴＡセミナー

「箕小おやこ寄席」を八月三十一日に高崎市内のホールにて開催いたしました。

今回は落語家の柳家喬之助（やなぎやきょうのすけ）さんと太神楽の鏡味仙三（かがみせんざ）さんをお呼びしました。

「なぜ、ＰＴＡセミナーに寄席を？」と思われる方もいらっしゃると思いますが・・

- ・落語を通じて日本の古き良き文化を楽しみながら体験する
- ・落語の話には「親子の絆」「人情話」先人の知恵」「喜怒哀楽」など学べる題材が豊富
- ・噺家は扇子と手拭いだけで様々な表現をしたり、一人で何役にでもなる落語を身振り手振りで学んでいく中で表現することの楽しさを感じ取ることが出来る
- ・太神楽（だいかぐら）といった曲芸を体験し、人前で発表することの楽しさを学ぶ

などを目的として行いました。

また、子ども達は前列、大人達は後列に分かれて座ったので、子ども達は大人の目を気にすることなく伸び伸びと、また親も子供の行動をいちいち気にすることなく、会場中が大笑いの渦に飲み込まれました。

参加者からは、「生で見る寄席は迫力がある。子ども達が本物に触れる機会があってよかった。」「プロの実力に感心した。子どもがよく聞いたり見たりしていたので、ビックリした。」「子ども達が引き込まれて行って伝統芸能の底力を感じた。」「大人も子どもも引き付けられ楽しめた。」など大変好評でした。

会場は熱気がありました！子どもたちの表情は真剣！　大人も楽しめました♪

事例発表　塚沢中ＰＴＡ

六月二十一日（土）西部地区ＰＴＡ指導者研修会にて、事例発表の機会を頂きました。会場は、安中市松井田文化会館で、吉井町立吉井西幼稚園、富岡市立富岡小学校、そして、高崎市立塚沢中学校が、それぞれ二十分の発表時間を頂きました。

我々は、「楽しくなければＰＴＡじゃない！」というテーマで、学校活動へ積極的に参加しているＰＴＡの取り組みを紹介しました。

発表内容の詳細は、紙面の都合上、ご紹介できませんが、感想を述べさせて頂きます。

準備段階では、自分達の活動を振り返って見つめ直す、いい機会となりました。先生方の積極的な協力もあり、充実した発表資料が出来たと自負しております。

発表当日は、他の発表者とのコミュニケーションなど、勉強になることが多い一日でした。今後も、このような機会のお話には、積極的に参加させて頂こうと考えています

「親子清掃」～寺尾中ＰＴＡ～

寺尾中学校ＰＴＡでは、毎年、夏休みの最終日曜日と十一月中旬の日曜日に「親子清掃」を行っています。

地区ごとに公民館に集合し学校まで歩きながら、ごみを拾ったり危険箇所がないか点検したりします。

親子で登下校の話をしたり親同士で話をしたり、自分の子どもや友達の様子を見ることもできます。

道路の清掃をして地域にも貢献しています。毎回約一五０人の参加者がいて、学校に集合すると賑やかです。

今年の夏休みの回は初の試みとして、中学生と保護者だけでなく家族や近所の方にも声をかけて参加していただき、学校に着いたらかき氷をふるまって、交流の場になるように計画しましたが、雨天のため実施できませんでした。かき氷を楽しみにしていた生徒さんもいたようなので残念でした。来年は実現させたいと思います。

スライム作り　中川小ＰＴＡ

中川小では年に二回週五日制行事を行っており　六月と十二月に実施しております。六月は群馬高専から講師に来ていただき　スライム作り　風船で遊ぼう　大きなシャボン玉に入ろうで行いました　スライム作りが主体で風船でいろんな動物とかを作ったり　大きなシャボン玉に入りみんな楽しく遊んで学んでいました。

出席人数は低学年９５人高学年６６人計１６１人が集まりました。また十二月はお年寄りご協力いただきしめ縄作りと　うどん打ちを毎年行っており最後に打ったうどんをみんなで食べて終了になります。この行事も児童出席率は大変良く一五０名前後が出席をしております。

文科大臣表彰に南八幡小学校！

本年度の文部科学大臣表彰の優良ＰＴＡに県内から高崎南八幡小、長野原北軽井沢小、太田養護学校の三校のＰＴＡが選ばれた。

高崎南八幡は環境教育への積極的支援、長野原北軽井沢は児童の安全確保、太田養護は休日活動の実施などがそれぞれ評価された。

日本ＰＴＡ全国協議会が十一月二十日に都内で開く年次表彰式で表彰される。

（十月二十一日上毛新聞抜粋）

活動内容

南八幡小学校は、十数年に渡り「環境教育」の実践推進校として、保護者や地域を巻き込んだ特色ある取り組みをしている。ＰＴＡも学校も一体となり「ＥＮＪＯＹ　ＰＴＡ」をスローガンにして楽しい活動を展開している。

ＰＴＡと学校が協力して学校敷地内に「ビオトープ」「炭焼き体験窯」国蝶「オオムラサキ」の飼育施設等の整備に尽力し、子供たちの学習環境整備に努めている。

隣接する里山（観音岡陵西端）を地域ぐるみで整備している。

以上の活動実績などが評価されました。

日Ｐ全国協議会会長表彰　群馬県教委表彰優良ＰＴＡ　寺尾中学校

本年度の日Ｐ、県教委表彰の優良ＰＴＡに寺尾中学校が選ばれました。特に実績を上げていると思われる活動として、通学路などでの親子清掃、制服、通学カバンなどのリサイクル活動、通学路のパトロール活動などがあげられました。また、組織強化、会員総意によるＰＴＡ活動、広報誌「雁行」などの発行が評価されました。

群馬県小中学校ＰＴＡ連合会表彰

本年度の県小中学校ＰＴＡ連合会表彰に以下の小中学校が選ばれました。日頃の活発なＰＴＡ活動が評価されたものです。

- 西小学校ＰＴＡ
- 北部小学校ＰＴＡ
- 倉渕東小学校ＰＴＡ
- 久留馬小学校ＰＴＡ
- 国府小学校ＰＴＡ
- 佐野中学校ＰＴＡ
- 新町中学校ＰＴＡ

おめでとうございます！

「単Ｐ情報」では各単位ＰＴＡ情報委員さんよりいただきました情報や新聞などで紹介されたＰＴＡ関連の記事を掲載しております。

事業報告

第2回　広報誌作成研修会

単Ｐ広報紙発行　第二回目となる「広報誌作成研修会が九月四日（木）午後七時より　群馬公民館にて開催されました。

各単位ＰＴＡ広報委員や作成担当者七十数名にお集まりいただき広報紙作り・スムーズな発行に向けての研修会を行いました。講師は　パリッシュ出版㈱　取締役営業本部長庭野美樹氏によるものでプロの視点から広報誌作成のための様々なノウハウ・ヒントをいただきました。

各単Ｐ広報委員会の皆様、二時間の研修会お疲れ様でした！各学校、すばらしい広報誌ができあがることをお祈りいたします♪

庭野さんは同じ女性の立場として　（群馬公民館）
取材のヒントなども教えてくれました

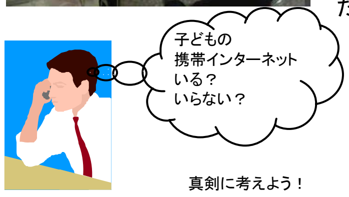
平成二十年度　単Ｐ本部役員研修会

去る九月十二日（金）「単Ｐ本部役員合同研修会＆懇親会」を開催いたしました。

高崎市内七十六単位ＰＴＡから本部役員、総勢一九０名の参加となりました。

子どもを取り巻く携帯電話でのインターネットの諸問題を多くの事例を紹介しながらの研修となりました。また、小此木会長は「ぐんま子どもセーフティネット活動委員会　インストラクター」講師としておつとめいただきました。

研修では、親が子どもの発するサインを見逃さずに、子どものちょっとした変化を見逃さない、子どものこころを見る目を養っていかなければならないことを改めて感じるものでした。


子どもの
携帯インターネット
いる？
いらない？

真剣に考えよう！

「平成二十一年度市Ｐ連本部役員候補者選出」

十月二十二日（水曜日）に開催されました「第二回単Ｐ会長合同研修会」のなかで、次年度平成二十一年度に向けて、市Ｐ連本部役員候補者選出のための推薦委員が各ブロックから二名選出されました。

・第一ブロック
倉持節子さん（箕輪小）
青木一浩さん（八幡中）

・第二ブロック
岸美紀さん（上郊小）
青木行雄さん（並榎中）

・第三ブロック
金子和幸さん（南八幡小）
新井公子さん（寺尾中）

・第四ブロック
高嶋大さん（岩鼻小）
湯浅やよいさん（倉賀野中）

・前年度推薦委員から
大河原賢二さん（高南中）

・市Ｐ連本部退任者から
若山園巳さん

・市Ｐ連世話係校長から
春山一成校長（下里見小）
眞尾英二校長（高南中）

以上、十二名の方が推薦委員となりました。

第一回推薦委員会は、十一月六日（木曜日）に開催されます。

委員会予定

◆ 第4回研修委員会グループ別全体研修会
開催日 平成20年11月5日(水)19:00～21:00
場　所 榛名倉渕保健センター(榛名エコール隣接)
対　象 各単位PTA研修委員
内　容 ①市P連研究集会発表に向けてグループ別発表のまとめ
②各役割等の決定　③情報交換

◆ 市P連情報委員会ブロック別全体会議
開催日 平成20年11月19日(水)19:00～21:00
場　所 高崎市中央公民館　集会ホール・第2集会室・第3学習室
対　象 各単位PTA情報委員
内　容 ①「かわら版～第4号」編集会議
②研究集会に向けての打ち合わせ　③情報交換

情報委員会では各単位ＰＴＡの情報をお待ちしています。ユニークな行事や紹介したい事業などがありましたらお近くの情報委員、または市Ｐ連情報委員会へお知らせください。

会長メッセージ

学校保護者向けの「携帯メール連絡網」は、高度情報通信化社会において、いつでも、どこでも緊急性のある情報はもちろんのこと、正確且つ迅速に必要とされる情報が手元に届くとても便利なものです。その利便性の部分の活用においては、より多くの保護者の方に登録をしていただき利用をしていただきたいと思います。

今後は、配信内容の充実、欲している情報や必要とされる情報をいまよりも増して、より多く配信できるようになっていくことで利用者が増えていくのではないでしょうか？

また、高崎市では、「安心ほっとメール」サービスもあります。高崎市内における事件発生や火災情報などの緊急的な情報（防犯・防災・火災・市政・気象）を任意でパソコンや携帯電話で登録することによりタイムリーに情報を瞬時に配信してもらえるものです。併せて登録していただくことにより、安心・安全、そして「ほっと」する気持にさせてもらえるのでしょうか・・・。（小此木正信）

編集後記

十月二十五日に浜川プールで「北京五輪競泳の内田翔選手と水に親しもう！」に子どもと参加しました。

内田選手は高崎市出身で、サイン会もあって大盛況でした。

五輪選手と接することは、将来のある子どもたちに大きな夢を与えます。

この企画を考えていただいた高崎市文化スポーツ振興財団の皆さんに感謝いたします。今後も夢のある企画をお願いします。

（第四ブロック長　高野）

高崎市小中養護学校
ＰＴＡ連合会
児童・生徒30045人
編　集　情報委員会
発　行　高崎市P連

高崎市教育委員会
社会教育課
〒370-8501
高崎市高松町35番地1
TEL.027-321-1295
（直通）